

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日
剰余金の配当基準日 期末配当金3月31日
中間配当金9月30日
定時株主総会 毎年6月
単元株式数 100株
株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
みずほ信託銀行株式会社

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)
郵送物送付先	お取引の証券会社等になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話お問合せ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配当金受取り方法の変更等)		みずほ証券 本店および全国各支店 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)でもお取扱いいたします。 みずほ信託銀行 本店および全国各支店(※) (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行(※)およびみずほ銀行の本店および全国各支店(みずほ証券では取次のみとなります) (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。	
ご注意	支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問合せ先・各種手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、株式の振替手続きを行っていただく必要があります。

公告方法 電子公告 (<http://www.musashinet.co.jp/koukoku/>)
ただし、やむを得ない事由によっては、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。

上場株式配当等の支払に関する通知書について

お支払する配当金については、株主様に支払配当金額や源泉徴収税額等を記載した支払通知書を通知することとなっております。つきましては、支払通知書の法定要件を満たした配当金計算書を同封しておりますので、平成30年の確定申告の添付書類としてご使用ください。

なお、配当金を株式数比例配分方式によりお受け取りの場合、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われますので、平成30年の確定申告の添付書類としてご使用になる支払通知書につきましては、お取引の証券会社等へご確認ください。

株式会社 **ムサシ**

本社：〒104-0061 東京都中央区銀座八丁目20番36号

TEL.03-3546-7711

<http://www.musashinet.co.jp/>

 MUSASHI

Financial Report 2017

第96期 年次報告書

2016年4月1日～2017年3月31日

株式会社 **ムサシ**
証券コード：7521



代表取締役社長
羽鳥 雅孝

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。ここに第96期年次報告書をお届けするにあたり、ひとことご挨拶申し上げます。

業績の概要

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善が続くなか、緩やかな回復基調で推移しましたが、新興国経済の減速や英国のEU離脱、米国新政権の政策動向など海外経済の不確実性により、先行きの不透明感を払拭できない状況で推移いたしました。

このような状況のもと当社グループでは、昨年7月に実施された参議院選挙や東京都知事選挙のほか、各地方選挙向け機材の販売に注力するほか、文書のデジタル化事業や印刷機材、並びに貨幣処理機器やセキュリティ機器などの販売に積極的に取り組んでまいりました。

この結果、当期の連結業績は、売上高352億68百万円(前年同期比1.2%減)、営業利益11億7百万円(前年同期比19.7%増)、経常利益12億42百万円(前年同期比4.4%増)、親会社株主に帰属する当期純利益7億81百万円(前年同期比3.8%増)となりました。

対処すべき課題

当社グループは、文書のデジタル化事業において、関連グループ会社と連携し案件ごとの採算性を注視しながら特徴のある電子化サービスの提案を行い、民間企業からの受注拡大と官公庁・自治体を中心とする大型案件の受注獲得に取り組んでまいります。

印刷システム機材分野では、収益性の改善を図るため、新たな需要が見込まれるUV印刷対応の「無処理型印刷材料」の普及に取り組んでまいります。また、高い競争力と独自性のあるレーザー加工機をはじめとする「印刷後加工商品」の拡販に注力し事業領域の拡大を図ってまいります。

金融汎用システム機材分野では、主要市場である金融機関向けの販売を強化するため、内部管理強

化や事務効率化などに対する課題を的確に把握し、その解決に向けた機器やシステムの開発を推進する提案型の営業に注力してまいります。

選挙システム機材分野では、国政選挙の有無に左右されない安定した業績を確保するため、地方選挙での事務効率化機器の導入促進に注力するほか、選挙の業務管理システムの拡販に取り組んでまいります。

紙・紙加工品分野では、需要減少が続く洋紙事業から、堅調な需要と利益確保が期待できる板紙事業への業態転換を推進してまいります。

財務ハイライト



暮らしの中の身近なところで、ムサシの商品やサービスが皆さまのお役に立っています

情報・産業システム機材

主な販売先

- 官公庁・自治体
- 企業・金融機関
- 学校・図書館
- 非破壊検査業



ドキュメントスキャナー

文書やマイクロフィルムのデジタル化、マイクロフィルム撮影などの総合的なメディアコンパートサービスをご提供。産業用非破壊検査機材をご提供。

印刷システム機材

主な販売先

- 印刷会社
- 文具・印章店
- 企業



CTPシステム

デジタルプリプレスシステムやPODシステム、印刷材料等を富士フィルムの特約店としてご提供。レーザー加工機等の印刷後加工商品や名刺印刷システムをご提供。

金融汎用システム機材

主な販売先

- 金融機関
- 流通業
- 宅配業・交通業・公営競技場
- アミューズメント



紙幣整理機

出納や売上金精算など現金処理業務の効率化を図る貨幣処理機器や、鍵・IDカード等の管理業務を強化するセキュリティ機器をご提供。

選挙システム機材

主な販売先

- 自治体



投票用紙
読取分類機

投票用紙読取分類機・交付機等の機器や、開く投票用紙など投開票事務の効率化機材、投票箱、業務管理システム、告知啓発用品などをご提供。

紙・紙加工品

主な販売先

- 印刷会社
- 紙器業
- 出版社



様々な分野で使用される紙や、付加価値の高い特殊紙、パッケージなどの紙器用板紙をご提供。

不動産賃貸・リース事業等

主な販売先

- ムサシグループ



不動産賃貸やオートリース、各種保険サービスをご提供。

選挙システム機材

ムサシは選挙業務を総合的にサポートしています

投票用紙読取分類機や計数機、交付機などの機器をはじめ、投票箱の中で自然に開くオリジナル投票用紙、投開票業務管理ソフト、投票箱や投票記載台などの用品・用具類、さらには投票率を高める選挙啓発プロモーション支援や啓発用品など、多彩な商品やサービスの開発・製造・販売及びメンテナンス業務を行っています。

選挙前

告知啓発活動商品



のぼり



風船



ティッシュペーパー

期日前・当日投票

投票所向け商品



投票用紙交付機



開く投票用紙



投票記載台



投票箱

投票箱

投票箱

開票

開票所向け商品



投票用紙
読取分類機



投票用紙計数機

投票用紙の枚数を高速計数

業務管理用商品



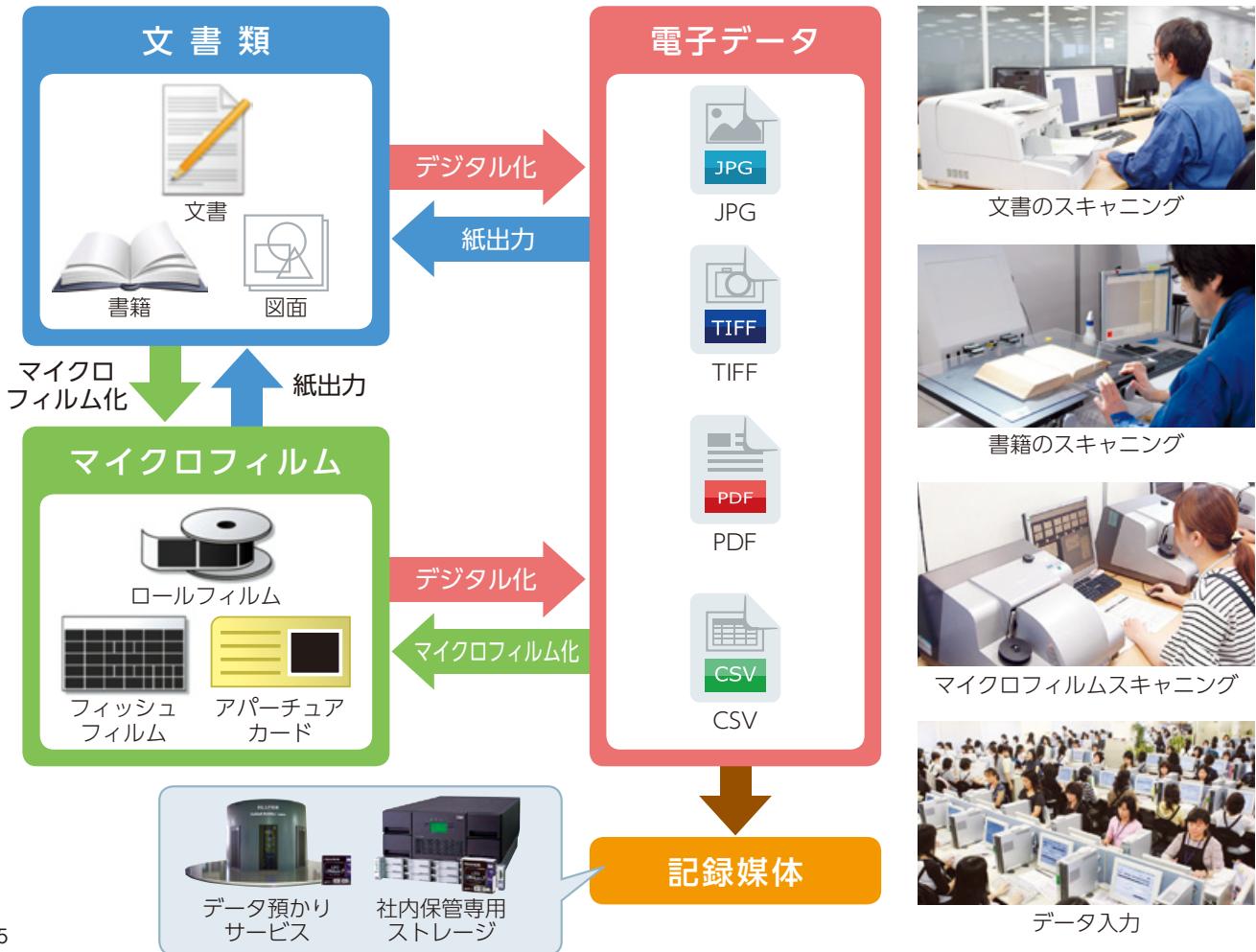
各種投開票管理ソフト

情報システム機材

ますますニーズが高まるメディアコンバートサービス

当社は国内最大級のイメージングセンターを活用し、官公庁や自治体、民間企業における各メディアの変換・保管事業を通じ業務の高効率化とセキュリティの向上に貢献しています。

メディアの変換・保管業務の概要



印刷システム機材

CLOSE UP 印刷物の差別化を実現する
高性能レーザー加工機 FLEXI 800発売

クラス最高速の加工スピードを持ち、
繊細でデザイン性の高い加工で
印刷物の高付加価値化を実現！

印刷業界では、印刷した後に商品を加工し
付加価値を高めることが求められています。
ムサシは、レーザー加工による印刷物の
差別化を提案しています。

FLEXI 800



加工の事例

- ペーパーの超微細カット
- 木材、革製品の表面彫刻
- シールラベルのハーフカット



ペーパーの超微細カット



木材・革製品の表面彫刻

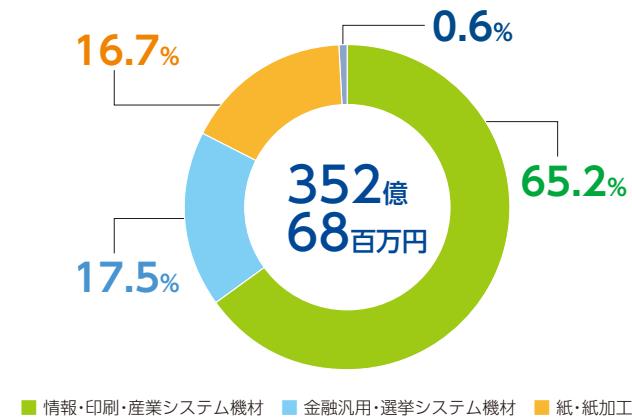
YouTube YouTubeで当商品の紹介動画をご覧ください。

レーザー加工機 ムサシ

売上高: 352億68百万円

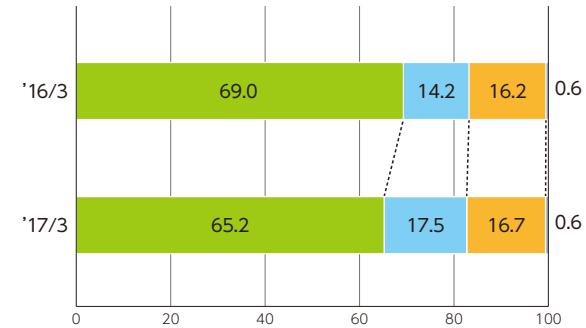
(2017年3月期)

売上高構成比



売上高構成比の推移

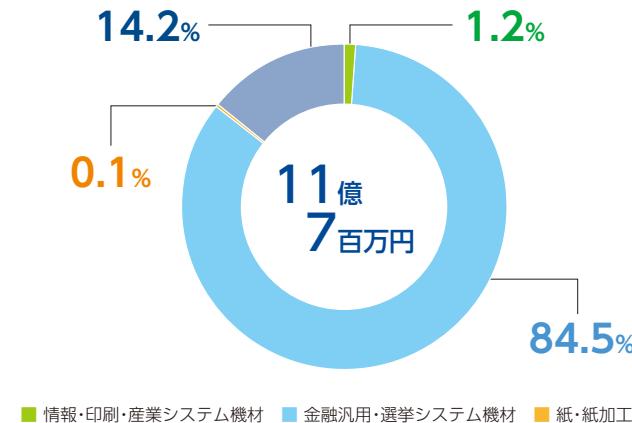
(単位:%)



営業利益: 11億7百万円

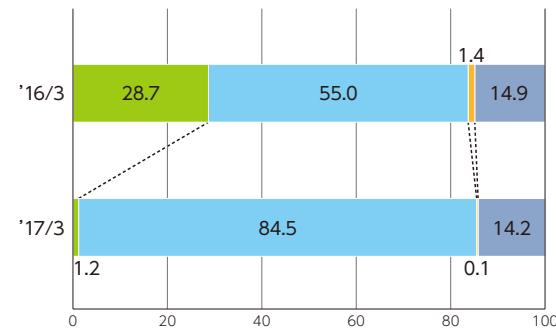
(2017年3月期)

営業利益構成比



営業利益構成比の推移

(単位:%)



情報・印刷・産業システム機材



情報・産業システム機材は、スキャナー等の電子化機器の販売は伸長しましたが、文書のデジタル化事業において民間企業からの受注が伸び悩み前年実績を下回りました。

印刷システム機材は、印刷需要の低迷と販売単価の下落、競合激化の影響などにより、CTP機器やPOD機器、印刷材料の販売とも前年実績を下回り、収益性も低下しました。

以上の結果、売上高は229億90百万円(前年同期比6.7%減)となり、利益面では印刷システム機材分野の利益率低下が影響し営業利益は13百万円(前年同期比95.1%減)となりました。

TOPICS

「レーザー加工機」の販売強化

印刷後加工分野の注目商品「レーザー加工機」の販売強化のため、専用ショールームを東京都平和島に開設。実機デモと加工サンプルで新たなビジネスを提案しています。

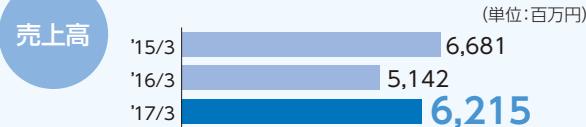


レーザーカットされた化粧箱

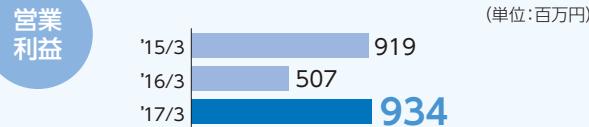
金融汎用・
選挙システム
機材



62億15百万円



9億34百万円



金融汎用システム機材は、金融機関のガバナンス強化によりセキュリティ機器の更新が促進されたほか、インバウンド需要により外貨処理システムの販売は順調に推移したものの、全体的には金融機関及び流通市場における設備投資抑制の影響が大きく貨幣処理機器の販売が落ち込んだため前年実績を下回りました。

選挙システム機材は、参議院選挙をはじめ、東京都知事選挙や各地方選挙向けに投票用紙読取分類機や交付機などの機器のほか、業務管理ソフト等の販売が好調に推移し前年実績を大きく上回りました。

以上の結果、売上高は62億15百万円(前年同期比20.9%増)となり、営業利益は9億34百万円(前年同期比84.2%増)となりました。

TOPICS

高まる投票率への対応

昨夏の参議院選挙は、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられた結果、投票率がアップしました。投票業務のさらなる高効率化を訴求しています。



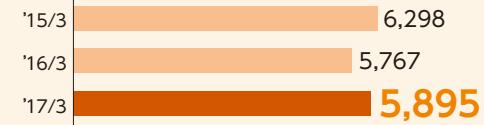
開票業務の効率化に不可欠な投票用紙読取分類機

紙・紙加工品

売上高

58億95百万円

(単位:百万円)



営業利益

1百万円

(単位:百万円)



紙・紙加工品は、印刷用紙の販売は商業印刷や出版分野での需要減の影響により低調でしたが、紙器用板紙や帳票用感熱記録紙の販売が伸びました。

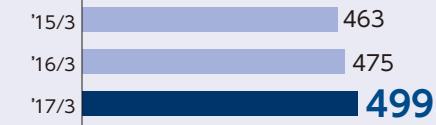
この結果、売上高は58億95百万円(前年同期比2.2%増)と前年実績を若干上回りましたが、営業利益は1百万円(前年同期比90.8%減)となりました。

不動産賃貸・リース事業等

売上高

4億99百万円

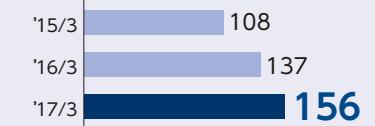
(単位:百万円)



営業利益

1億56百万円

(単位:百万円)



不動産賃貸・リース事業等の業績は概ね堅調に推移し、売上高は4億99百万円(前年同期比5.1%増)、営業利益は1億56百万円(前年同期比13.9%増)となりました。

■ 連結貸借対照表

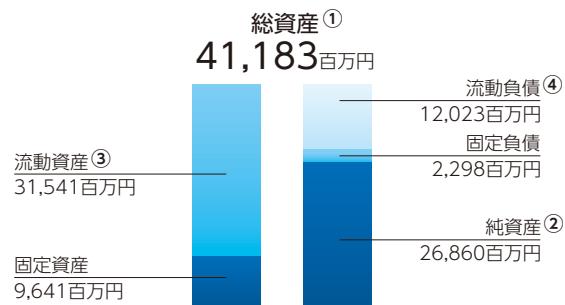
(単位:百万円未満切捨て)

科 目	第96期 2017年3月31日現在	第95期 2016年3月31日現在
(資産の部)		
1 流動資産	31,541	31,229
2 固定資産	9,641	9,389
有形固定資産	3,290	3,339
無形固定資産	137	165
投資その他の資産	6,213	5,884
資産合計	41,183	40,619
(負債の部)		
3 流動負債	12,023	12,522
4 固定負債	2,298	2,132
負債合計	14,322	14,655
(純資産の部)		
株主資本	26,378	25,805
その他の包括利益累計額	481	158
5 純資産合計	26,860	25,963
負債・純資産合計	41,183	40,619

■ 当期末総資産

自己資本比率(財務の健全性)
=②÷①×100
65.2%

流動比率(短期の支払能力)
=③÷④×100
262.3%



ポイント

資 産	
1 流動資産	<p>■増加の主要因</p> <ul style="list-style-type: none"> 現金及び預金の増加(20億61百万円) <p>■減少の主要因</p> <ul style="list-style-type: none"> 受取手形及び売掛金の減少(13億31百万円) 棚卸資産の減少(2億73百万円) 流動資産の「その他」の減少(1億79百万円)
2 固定資産	<p>■増加の主要因</p> <ul style="list-style-type: none"> 評価益の増加に伴う投資有価証券の増加(2億50百万円) 退職給付に係る資産の増加(87百万円) <p>■減少の主要因</p> <ul style="list-style-type: none"> 建物及び構築物の減少(54百万円) ソフトウェアの減少(27百万円)
負 債	
3 流動負債	<p>■増加の主要因</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子手形の採用に伴う電子記録債務の増加(26億97百万円) 流動負債の「その他」の増加(2億44百万円) <p>■減少の主要因</p> <ul style="list-style-type: none"> 支払手形及び買掛金の減少(35億3百万円)
4 固定負債	<p>■増加の主要因</p> <ul style="list-style-type: none"> 役員退職慰労引当金の増加(93百万円) 繰延税金負債の増加(69百万円)
純資産	
5 純資産	<p>■増加の要因</p> <ul style="list-style-type: none"> 親会社株主に帰属する当期純利益(7億81百万円) その他の包括利益の増加(3億23百万円) <p>■減少の要因</p> <ul style="list-style-type: none"> 剰余金の配当(2億8百万円)

■ 連結損益計算書

(単位:百万円未満切捨て)

科 目	第96期 2016年4月1日から 2017年3月31日まで	第95期 2015年4月1日から 2016年3月31日まで
売上高	35,268	35,709
売上原価	27,867	28,562
売上総利益	7,400	7,146
販売費及び一般管理費	6,293	6,220
営業利益	1,107	925
営業外収益	173	304
営業外費用	39	39
経常利益	1,242	1,189
特別利益	-	-
特別損失	17	5
税金等調整前当期純利益	1,224	1,184
法人税、住民税及び事業税	505	444
法人税等調整額	△63	△12
当期純利益	781	753
親会社株主に帰属する当期純利益	781	753

■ 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円未満切捨て)

科 目	第96期 2016年4月1日から 2017年3月31日まで	第95期 2015年4月1日から 2016年3月31日まで
6 営業活動によるキャッシュ・フロー	2,500	256
7 投資活動によるキャッシュ・フロー	△325	△171
8 財務活動によるキャッシュ・フロー	△213	△225
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,961	△141
現金及び現金同等物の期首残高	16,763	16,905
現金及び現金同等物の期末残高	18,725	16,763

ホームページでさらに詳しい情報をご覧ください。

<http://www.musashinet.co.jp/>

当社ホームページ「IR情報」では、決算説明会資料などのIR関連情報をタイムリーに載せております。



IR情報トップページ

業績ハイライトや、過年度の決算短信、年次報告書など様々なIR情報をご覧ください。最新の株価などもご確認いただけます。

より使いやすいサイトを目指してまいります。

ポイント

6 営業活動によるキャッシュ・フロー	
■収入の主要因	
・税金等調整前当期純利益	12億24百万円
・減価償却費	3億8百万円
・売上債権の減少	13億31百万円
・たな卸資産の減少	2億73百万円
・退職給付に係る資産及び負債の増減額	1億8百万円
・その他流動負債の減少	2億60百万円
■支出の主要因	
・仕入債務の減少	8億9百万円
・法人税等の支払額	4億65百万円
7 投資活動によるキャッシュ・フロー	
■支出の主要因	
・定期預金の預入による支出	1億円
・固定資産の取得等による支出	2億38百万円
8 財務活動によるキャッシュ・フロー	
■支出の主要因	
・配当金の支払	2億8百万円

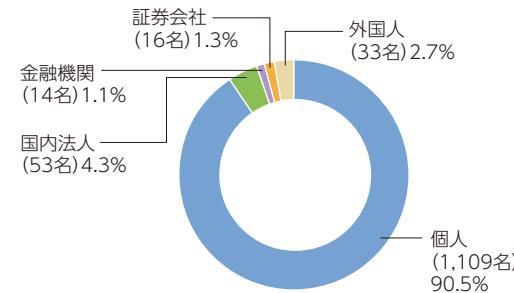
発行可能株式総数 28,920,000株
 発行済株式の総数 7,950,000株
 株主数 1,225名

■ 大株主

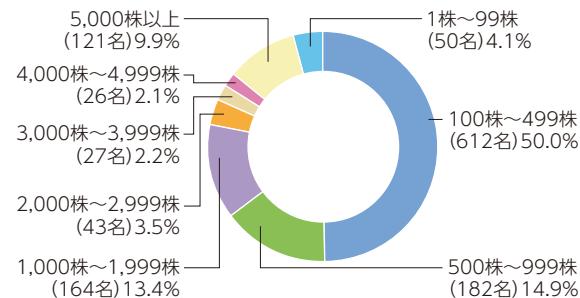
株主名	持株数	持株比率
上毛実業株式会社	1,388 千株	18.7%
ショウリン商事株式会社	897	12.1
ムサシ社員持株会	490	6.6
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)信託口	360	4.8
株式会社みずほ銀行	360	4.8
MSCO CUSTOMER SECURITIES	342	4.6
ムサシ互助会	299	4.0
小林厚一	237	3.2
株式会社三井住友銀行	190	2.6
羽鳥雅孝	137	1.8

(注) 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しております。
 当社は自己株式506千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。持株比率は自己株式を控除して計算しております。

■ 株式の所有者別状況 (株主数)



■ 株式の所有株数別状況 (株主数)



IR カレンダー

第1四半期			第2四半期			第3四半期			第4四半期		
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
中旬 本決算 発表	初旬 決算説明会 下旬 定時株主総会 期末配当金支払開始		中旬 第1四半期 決算発表	初旬 個人投資家 向け説明会		中旬 第2四半期 決算発表	初旬 第2四半期 決算説明会 中旬 中間配当金支払開始		中旬 第3四半期 決算発表	初旬 個人投資家 向け説明会	

商 号 株式会社ムサシ
 設 立 1946年12月
 本 社 東京都中央区銀座八丁目20番36号
 資 本 金 1,208,500,000円
 従 業 員 数 連結539名/単体230名(2017年3月末現在)
 主要取引銀行 株式会社みずほ銀行
 株式会社三井住友銀行
 株式会社三菱東京UFJ銀行
 関係会社 ムサシ・フィールド・サポート(株)
 武蔵エンジニアリング(株)
 (株)ムサシ・イービーシー
 ムサシ・イメージ情報(株)
 ムサシ・アイ・テクノ(株)
 エフ・ビー・エム(株)
 武蔵興産(株)
 (株)武蔵エンタープライズ
 (株)ジェイ・アイ・エム
 役 員 代表取締役名譽会長 都木 恒夫
 代表取締役会長 小林 厚一
 代表取締役社長 羽鳥 雅孝
 専 務 取 締 役 佐々木 淳
 常 務 取 締 役 村田 進
 常 務 取 締 役 山村 隆
 取 締 役 浅川 正仁
 取 締 役 新妻 一俊
 取 締 役 廻 真一郎
 取 締 役 栃木 真司
 取 締 役 小林 佳典
 取 締 役 小野 貢市
 取 締 役 五島 真一
 社 外 取 締 役 高原 巨章
 常 勤 監 査 役 中川 裕務
 常 勤 監 査 役 桑原 弘順
 社 外 監 査 役 安藤 信彦
 社 外 監 査 役 浅野 修一

■ 事業所

- ▶ 本社
- ▶ 東京第一支店・東京第二支店
- ▶ 紙・紙加工事業部・海外営業部
東京都中央区銀座八丁目20番36号
- ▶ 札幌支店
札幌市北区北十二条西三丁目1番15号(N12ビル)
- ▶ 仙台支店
仙台市青葉区錦町一丁目10番11号(勾当台上杉通りビル)
- ▶ 北関東支店
さいたま市大宮区土手町一丁目2番地(JA共済埼玉ビル)
- ▶ 東関東支店
千葉市中央区新町18番地10(千葉第一生命ビルディング)
- ▶ 神静支店
横浜市西区北幸二丁目8番4号(横浜西口KNビル)
- ▶ 名古屋支店
名古屋市中区栄四丁目14番2号(久屋パークビル)
- ▶ 大阪支店
東大阪市長田中三丁目6番1号
- ▶ 中四国支店
広島市中区本川町二丁目6番11号(第7ウエノヤビル)
- ▶ 福岡支店
福岡市博多区店屋町6番25号(オクターブ店屋町ビル)
- ▶ 新潟営業所
- ▶ 茨城営業所
- ▶ 静岡営業所
- ▶ 浜松営業所
- ▶ 北陸営業所
- ▶ 岡山営業所
- ▶ 高松営業所

